

## 令和6年度「まちづくり懇談会」開催報告書 【東山地域】

### 1 会の概要

日時	7月23日(火) 18:00~19:45	場所	東山市民センター
対象地区	東山地域	対象者	東山地域内に居住、勤務する若者、女性、農商工業者等
テーマ	10年後の地域のすがた		
参加者	11人（各地区@4人としたが、1人当日体調不良で欠席。意見はメールでいただいた）		
市出席者	東山支所長、次長兼地域振興課長、課長補佐兼地域協働係長、課長補佐兼総務管理係長		
特記事項	ワークショップは、ファシリテーターとしていちのせき市民活動センターを派遣依頼しコーディネートいただいた。（小野寺浩樹センター長以下3人）		

### 2 懇談会で出された意見等

No.	区分	項目	内容	備考
1	意見	教育	「狛鼻溪」、「幽玄洞」など観光資源があることが強み。外国人観光客が多いので、小学生から全員が英語をペラペラ話せる町を目指してはどうか。通常会話くらい学校などで学べる環境があればいい。	
2	意見	産業	「東山和紙ブランドの確立」を次期10年の重点項目とする。東山和紙職人を育成し、販売促進する機会が求められている。	
3	意見	農業	高齢化で草刈り人材不足、鳥獣被害で農地が荒廃。維持できない。 農業法人を組織し、生産から流通までの運営を目指す。加工食品を生産したり、空き店舗でコメ野菜、獣害被害を活用したジビエを販売するのもいい。 農地維持活用をする協働体組織を作り、一例として夏場は農産物を生産し、冬場は紙すきに従事する。多くの世代が継続して働ける組織が理想だ。	
4	要望	人口減少	生徒が少ないので勉強しやすい。 東山は人とのつながりがスマートな町。 子供の声が聞こえない。公園遊具が壊れても修理されない。外で遊ばず家でゲームを好み、人と関わりたくない子供が増えた。 子供の遊び場や環境について、子育て世代から意見をもらい反映してほしい。	
5	意見	地域活動	「唐梅館絵巻」「山神社の祭」などの祭や伝統芸能があり、各種団体活動が活発だが、発表の場が少ない。子育て世代は忙しく、事業に参加しづらい。団体間、横の繋がりが薄い。 大人が地元の祭りや伝承を楽しむ機会を子供たちに見せていきたい。	

6	意見	商業	商業施設、飲食店、病院が少ない。空き店舗の増で田河津や松川に買い物難民が増えている。地元で買い物することで市の税収が増える。地域で経済を回せるよう空き店舗を流通の場にする仕組みづくりが必要だ。高校生も交わり、居心地のいい、集まる場所、いろんな人が働ける町を目指したい。	宮城県栗原市築館栗駒の六日町商店街は空き店舗利用やイベント開催で活気がある
7	意見	土地活用	荒廃農地を太陽光エネルギーに転用している例がある。土地の活用・人の雇用で交流している。アイデアを出し合うチャンス。	
8	意見	住宅	残置物の処理や家のリフォームが大変だ。空き物件が出てこないの、行政主体で空き家や空き店舗を整備してほしい。住居が必要な方や、製造販売、事業したい人に使ってもらえることで、まちの活性化が期待できる。	
9	その他	災害	松川は水害になりやすい。自然災害が発生する前に地域で対策、考える機会が求められる。個人情報保護が叫ばれるが、各家の状況把握など必要。また、地元の人には地元企業のことを実はあまり知らない。	
10	意見	観光	既存の民間サービスの一体感(狛鼻溪を軸にした地域ブランディング)を強め、狛鼻溪とその周辺の付加価値や独自性、第一次産業との連携や顧客満足度を高め、入り込み客数の向上を狙う。 地域おこし協力隊と観光業に携わる町民と一緒に地域ブランディングを固め共有していく必要がある。子育て世代へのプラスのイメージも狙える。	地域おこし協力隊との関わり
11	要望	補助金など	資金面では、地域ブランディング制作やそのPR、第一次産業との連携などにもう少し手厚い補助金があると、民間としてはリスクが取りやすくまとまりやすい。	
12	意見	子育て	「えぽっく」の室内や市民センターなど、空きスペースを活用してこどもの遊び場などがあると助かる。地域ブランディングと一体で進めることで、観光のお客様と子育て世代双方に魅力的なまちづくりが進むと思う。	
13	意見	農業	産地リレーができないから外貨を稼ぐしかないが、農業法人のようなチームを作ってトライする環境があると個でやるより効果が広がる。	
14	意見	人口減少	東山町の観光や伝統を活かし、若者が地元で根づく・戻るきっかけをつくる。 若者世代や子育て世代等が情報交換できる場を設け、意見を聞く機会を設ける。東山の魅力を若者目線で発信していく。	